



# まらまら

第33号  
今、ひとりひとりが...

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「まらまら」と輝いていける21世紀でありたい…。

## いきいき未来いが2014を開催しました!!

6月28日、ふるさと会館いがにて「いきいき未来いが 2014」を開催しました。

今回初めての企画となる「イクメン・イクジイ・カジダン写真コンテスト」や男女共同参画ネットワーク会議会員による展示や販売を行った「いきいき交流広場」、そして元五輪選手でシンクロス

イマーの武田美保さんを講師にお招きし、講演会を行いました。「輝き続けるために～仕事と子育ての両立をめざして～」と題した講演では、現役時代のチームや演技について、またオリンピックでのエピソードを通して、なりたい自分を思い描きそれを常にイメージすることで、夢を現実にするパワーが生まれる、と力強く語られました。

### 武田美保さん講演会



### いきいき交流広場



#### 編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策・男女共同参画課  
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地  
TEL(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666

(平成 26 年 8 月 15 日 発行)

#### 編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「まらまら」  
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子  
宮田 美智子・三山 佳代子

### ○家族・世帯の現状と変化

国勢調査による世帯の家族類型別の構成割合は、昭和55年から平成22年の変化を見ると、「夫婦と子供」から成る世帯及び「3世代等（親族のみの世帯のうち、核家族以外）」の世帯割合が低下、「単独」及び「夫婦のみ」の世帯が増加しています。また、世帯員数は減少を続け、これからも減少する傾向にあります。30歳以上の男女における「単独」世帯数やひとり親と子供の世帯の割合が増加するなど、標準的と呼べる家族構成はもはや存在しなくなっています。

「単独」世帯の増加には、高齢者人口の増加に伴い、配偶者と死別する人が増えたことと、未婚率の上昇が影響しています。

### ○性別役割分担意識の変化

平成9年に、共働き世帯数が男性雇用者の夫と無業の妻世帯数を上回り、現在も増加し続けています。このような性別分業スタイルの非主流化には女性の就業や性別役割分担意識に関する男女の意識の変化とともに、男性の就業を取り巻く状況の変化が影響していると考えられます。

第1に男性が終身雇用を前提とした就職ができないことが指摘できます。59歳以下の男性就業者の平均勤続年数が減少していること、また建設業・製造業といった従来の主力産業において、男性の就業者数が大きく減少し、転職者が増えているにも関わらず、成長産業への労働力人口の移動が鈍いこと、それから就業者数に占める非正規雇用者の割合が増加し続けていることなどがその理由です。

第2に男性の賃金の減少傾向が挙げられます。男性の平均所定内給与（残業手当を除いた給与）額が減少し、また管理的職業従事者の割合も減少していることから、昇進による昇給も見込めない状況で、男性1人の収入で家計を支えるのは難しくなっています。経済的な理由で女性が働くというケースが今後も増えると考えられます。

### ○男性のワーク・ライフ・バランスの現実と男性の意識

男性の長時間労働や家事関連活動への関わり方の変化に、大きな変化は見られません。ただ、男性が現状に満足しているわけではありません。仕事を優先している男性は、仕事を優先したい男性の倍以上に達しており、仕事と家庭生活をともに優先している男性は、ともに優先したいと希望する男性の3分の2しかいません。個人の意識だけでなく、企業や組織の体制を見直さなければ、ワーク・ライフ・バランスの現実と理想の間にある溝を埋めることは難しいと思われます。

### ○今後に向けて

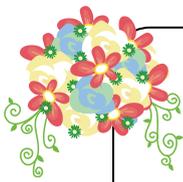
このように、男性の就業を取り巻く状況は大きく変化しており、経済的な理由から女性が就業するという例が今後も増えていくことが予想されます。男女とも女性の就業について肯定的な人の割合が高く、若年層においては性別役割分担に関する意識は男女でほとんど差はありません。一方で男女の両方で男性を主たる稼ぎ手と考える傾向もあり、特に若い独身女性にその傾向が強いです。また性別役割分担を肯定する人の割合が、昭和38年以降生まれの大学卒の独身女性において高くなっています。

到達した教育段階別では、中学校・高校卒の男女は、大学卒の男女と比べて、平均収入が低い一方で、女性の就業に肯定的で性別役割分担に否定的な考えを持つ割合が高くなっています。

家族類型や産業・就業スタイル・個人・社会生活などあらゆる面で変化や多様化が進み、「標準的」「典型的」と言い表せる特定のモデルが存在しなくなっています。個々の男女だけでなく企業や組織も、あらゆる面における変化を早く把握し、これまでの考えに縛られることなく、様々な施策や制度の検討・実施を行うことが求められます。

（男女共同参画係）





# イクメン・イクジイ・カジダン 写真コンテスト 受賞作品決定!!



男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2014」の企画で、「イクメン・イクジイ・カジダン写真コンテスト」を実施しました。27作品の応募があり、お父さん・おじいさんの日ごろの育児や家事への関わり方が伝わってくる、いい雰囲気の写真ばかりでした。

「いきいき未来いが2014」実行委員会の審査により、最優秀賞1点、優秀賞2点を選び、フォーラムの会場で表彰式を行いました。また「いきいき未来いが2014」来場者の投票により、得票数の多かった作品1点に特別賞を贈りました。

## 最優秀賞

「おんぶ」 福地 津根生さん



## 優秀賞

「男子厨房に入るべし」 宮田 美智子さん



## 優秀賞

「お父さんと1歳の誕生日」 中川 裕穂さん



## 特別賞

「パパのおひざが  
いちばん」

川口 巳幸さん

